



取材日:平成25年8月7日(水)

取材先:リプロ株式会社(三重県四日市市)

レポーター名:四日市大学総合政策部2年 室田直哉



リプロ株式会社の魅力発掘

リプロ株式会社の取材を通して、ユウユウハウスにおける障がい者のしいたけ栽培を伝えたい。ユウユウハウスでは無農薬の安心安全なしいたけを栽培しており、ビニールハウスが二重構造でできていた。しいたけは、グラムによってサイズが決まっており、しいたけの種類に関して、干しいたけ等ひとつではなかった。また、加工して、佃煮にもでき、多様に使用することができるものであった。ユウユウカイカンの中でもしいたけが売られており、お客さんの目に届くものとなっていた。しいたけは、障がい者の方が作っているが決して手を抜くことなく、懸命に取り組んでおり、地域に貢献していた。しいたけハウスのところに、「しいたん」というキャラクターが立っており、四日市という地名、無農薬というフレーズをキャラクターにつけ、アピールされていたことが売りになると思った。

その他にサッカースクールが開講されており、あいさつ、目を見て話を聞く、助け合い、時間を大切にするという4つの約束を通して人としてあたりまえなことができるようにと人材育成がなされていた。サッカーをする裏側には環境への対応力も養われ、人として成長することが示されている。また、地域スポーツを応援する応援団と地域が関わり、多くの人と一緒にになって取り組み、地域活性化としてこれからも繋がっていくことに共感した。あらゆる個人や団体の人たちと連携しお互いが学び合うことで共通の輪が広がり、地域活性化として今までにはなかったような新しい繋がりが出てくるので、ぜひ知ってもらいたい。

感想

リプロ株式会社を取材させてもらって、ひとつのことではなく、たくさんの事業に取り組み、幅広い視点から地域をみることで、地域課題が明確化になっていく。企業・NPO等の団体と関わることで、地域について深く考え、学ぶことができました。地域貢献はこれからも必要となり、どうやったら良くなるか、何ができるか、何をすべきかの繰り返しであり、いろんなことに挑戦していくことが大事でした。地域活性化にも、計画・実行・評価・行動と一連の流れが伴い、すぐには結果として見えてはこないかもしれませんが、しかし、粘り強くあきらめずに取り組むことが次のステップに繋がっていくと思います。今回取材して、地域を考えるという新鮮なことを学べたので、自分にとってプラスになりました。